

令和５年度補正予算要求状況の公表に係る県民意見と反映状況

「令和５年度補正予算」要求状況に対し、県民の皆様からいただいたご意見の概要、それに対する県の考え方及び予算への反映状況は次のとおりです。

番号	ご意見の概要	県の考え方及び反映状況	所管課
1	県外で就職する若者が増えており、そのまま帰ってきません。長い年月を経た人口構造による自然減は簡単に止まらないとは思いますが、社会増については、何らかの施策をやらないと大分県の人口減少は止まらないと思います。特に、若年層向けの移住関連の施策については、どのようなものを考えているのでしょうか。	若年層の移住を促進するため、「転職なき移住」の推進に向け、都市圏のリモートワークが可能な企業などに対する働きかけを強化するとともに、ニーズに沿った情報発信や伴走型の転職支援を行います。 具体的には、テレワークの活用により仕事を変えずに移住を行う「転職なき移住」の推進に向け、都市圏の企業などに向けたモニターツアーを開催し、移住を見据えた関係性の構築に取り組みたいと考えています。 また、若年層のニーズに沿った広告媒体の活用による大分県の魅力発信や、キャリアコンサルタントによる伴走型の移住・転職支援についても行いたいと考えています。 「転職なき移住」を推進し、企業人材や個人事業主などの移住につなげます。また、若年層が十分での暮らしや転職に目を向けるきっかけが創出され、実際の移住につながるよう取り組んでまいります。	おおいた創生推進課
2	電気代やガス代に加え、食料品も値上がりが続いています。福祉施設や病院は利用者や患者さんに負担増をお願いできないため、経営に影響がでるのではないのでしょうか。物価高騰対策の緊急支援が多くの施設に一日も早く行き渡るようお願いします。	高齢者福祉施設や障がい福祉施設、保育所などの社会福祉施設をはじめとして、病院や診療所といった医療機関など、県内の１万を超える施設に対し、電気代等物価高騰分の一部を助成します。 助成に当たっては、定員数や病床数などに応じた定額制を採用し、申請を行う施設側の事務負担を軽減することで、迅速に支援したいと考えています。	福祉保健企画課
3	国は２０５０年のカーボンニュートラルを表明し、２０３０年度は２０１３年比で４６％削減すると高い目標を掲げています。 大分県でも２０２０年にカーボンニュートラルを宣言していますが、実現のためには各家庭での取組が必要不可欠です。各家庭での省エネ対策を支援していただけないのでしょうか。	大分県ではカーボンニュートラルの実現に向け全庁をあげ取組を進めているところですが、その中でも県民の皆様と協力しながら一般家庭での対策を進めていくことが重要であると考えています。 そのため、家庭向けエコ診断や環境アプリ「エコふぁみ」を活用し、家庭から排出されるＣＯ２量の見える化などに取り組んできたところです。今後その取組をさらに加速させる必要があることから、国の交付金も活用し、太陽光発電や高効率給湯器など省エネ設備の導入についても支援し、一般家庭での省エネ対策を進めていきます。	脱炭素社会推進室
4	都市ガスを使っている友人から、国による支援でガス代が安くなったと聞きましたが、自分が住んでいる団地はLPガスですが、ガス代が安くなった印象はありません。 このところはガス代をはじめ、いろいろなものが値上がりして苦労しているので、LPガスについても何らかの支援をお願いします。	物価高騰が続く中、特にエネルギー価格の上昇は看過できない状況です。国では、低圧・高圧の電気料金と都市ガス料金の支援を行っていますが、特別高圧の電気料金とLPガス料金については対象外となっています。 県では、特別高圧で受電している中小企業や、LPガス（いわゆる「簡易ガス」を含む）の一般消費者等に対して、国の支援策も参考にしながら、電気料金及びLPガス料金の一部について支援を行うこととしています。	新産業振興室
5	牛や豚の餌となる輸入飼料の高騰が続いていると聞きます。 現在の日本の飼料は輸入に大きく依存していますが、県内の農家と共同し、餌となる作物を育てることはできないのでしょうか。	家畜の飼料となるトウモロコシなどの穀物の多くは海外からの輸入に依存していますが、ウクライナ侵攻や円安、海外の需要量の増加等によって輸入価格が高騰しているため、畜産農家の経営に影響を与えています。 そこで、家畜の飼料費を低減するため、県内の水稻農家に輸入トウモロコシの代替となる飼料用米の作付転換を計画的に進めるとともに保管施設の整備や広域的な流通体制を構築することにより、飼料用米の利用拡大を支援します。	畜産技術室

番号	ご意見の概要	県の考え方及び反映状況	所管課
6	<p>昨年、ニュースで由布市の花合野川の被害状況をみて心が痛んだ。昔に比べて、近年は台風の雨風が強くなっていたり、大雨の降り方が激しくなっているように思う。</p> <p>災害からの被害がゼロというのは難しいかもしれないが、被害を最小限におさえるため、対策工事をしっかりと進めていってほしい。</p>	<p>県では、令和4年台風14号によって被害を受けた花合野川について改良復旧工事等を実施しています。</p> <p>頻発化・激甚化する自然災害に備えるため、国の防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策を積極的に活用して、海岸・河川・砂防施設の整備に取り組んでいるところです。</p> <p>併せて、国の補助事業の対象とならない中小河川やがけ地などについても、きめ細かに対応し、県土の強靱化を進めていきたいと考えています。</p>	河川課 砂防課 港湾課
7	<p>県立学校施設の脱炭素化に向けた改修や、特別支援学校の施設整備を行うとのことですが、脱炭素化に向けた改修とは具体的にどのようなもののでしょうか。</p> <p>子どもが通っている高校も施設の老朽化が進んでいますが、まだ改修の話は全く聞いていません。早く改修が進んで、教育環境が改善されることを期待しています。</p>	<p>県立学校の脱炭素化に向けた改修については、国を挙げて2050年カーボンニュートラルを目指す中、今後の施設改修にあたっては、高断熱化、高効率化設備の導入を行うものです。</p> <p>また、老朽化対策については、施設の損傷が顕著になる前に処置を行う予防保全型維持管理の考え方のもと、大規模改修工事を計画的に行っています。引き続き、施設の状況をしっかりと把握し、計画的な施設改修を進めてまいります。</p>	教育財務課